

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ミッション

ビジョナリーイノベーションで未来をごきげんにする。近視、ドライアイ、老視、脳疾患などアンメット・メディカル・ニーズの高い疾患領域で革新的ソリューションを創出。

② 中長期の経営戦略

1. 独自発明と社会実装の融合

特許に繋がる独自の発明（Invention）とパートナー企業との協働による社会実装（Implementation）を掛け合わせ、確実なイノベーションを創出。

2. CSV経営の推進

社会課題の解決と企業の持続的成長の同時実現を目指すCSV経営に基づき、パートナー企業と連携して社会価値と経済的価値を同時に創出。

3. 循環型ビジネスモデル

独自の技術・知財を基盤に、国内外のパートナーとライセンス契約。得られた収益を新たな研究開発に再投資し、パイプラインと企業価値を継続的に拡充。

③ 対処すべき課題

① 基礎研究・知財戦略強化

- ・先進的な研究開発推進とライセンス収入確保の両立
- ・知的財産の戦略的管理と導出力強化
- ・パートナー企業との共同開発を通じたロイヤリティ収入ビジネス構築

② 国内外事業開発拡大

- ・小規模バイオベンチャーとして強固な共同研究開発体制の構築が重要
- ・国内外の有力企業・研究機関との連携拡大・深化
- ・研究開発と事業開発機能の強化

③ 規制対応と事業体質強化

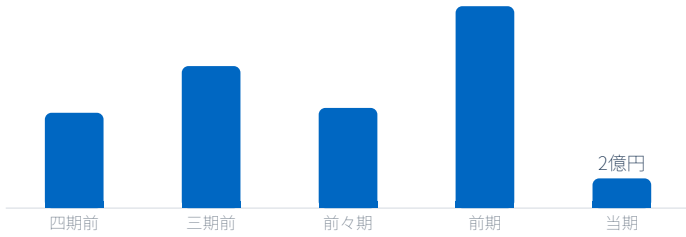
- ・PMDA、FDA、EMA、NMPA等への承認取得を実現するレギュラトリーサイエンス強化
- ・OKR導入による目標管理体制構築
- ・多様な人材確保と経営体制強化、ガバナンス整備

面接で使えるポイント

- ・慶應義塾大学医学部発の大学発ベンチャーとして、近視・ドライアイなど高いアンメット・メディカル・ニーズの疾患領域に取り組む…
- ・パイプラインの事業化段階にあるため、ROAやROEではなくパイプライン進捗管理を経営指標とする理由と…
- ・T-SBIRという独自の研究助成制度を通じて、アカデミアとのネットワーク構築と革新的研究テーマの発掘・事業化を目指す戦略…

証券コード 4890

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
－（未開示）営業利益率
－（未開示）財務健康度
72点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 58.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
818万円

医薬品内 44位/80社

平均年齢
48.0歳

医薬品内 16位/80社

平均勤続
2.1年

医薬品内 76位/80社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: (株)坪田ラボ【4890】：決算情報

